



議会だより

いすかす

114号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2022.11.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください



令和4年第3回定例会における 議案の賛否状況

第3回定例会で上程された議案はすべて可決されました。

目次

委員会だより ②ページ

一般質問 ③～⑥ページ

補正予算審査ほか ⑥ページ



▲7月29日 キウシト湿原での議員研修会の様子

住宅地の中に位置する湿原として、子どもたちの自然体験学習など、教育の場としても重要な場所であり、今後も湿原の保全、再生に向け、まちが一丸となつて取り組む必要性を再認識した研修会となりました。(成田)

また、湿原の役割では、大雨が降っても、川に大量の雨水が流れ込むのを防ぐダムの役割や、積もった泥炭のろ過効果により、きれいな水を川に流す役割もあり、そのほか、ワラミズゴケなどの希少植物や希少動物が多く生息しています。

キウシト湿原は、環境省の日本の重要湿地500に選定されており、生物多様性や自然環境保全の観点からもラムサール条約の登録の礎にもなっています。

キウシト湿原を
視察しました
登別市議会議員研修会

新庁舎「議会関連諸室」を 集中協議

総務・教育委員会

新庁舎建設に関する「議場・議会関連諸室の在り方」に関しては、要望書や各党派意見、本庁舎整備推進グループとの意見交換会を踏まえ、基本設計に向けた具体的な項目に対して、委員間協議を行いました。

- ①議会関連諸室のゾーニング（議場の設置階を含む）
- ②議場の多目的利用についての可否（運用方法は含まない）
- ③議場の床、傍聴席との段差（フラット化など）
- ④議場の壁などの考え方（ガラス張りの是非、天井の高さなど）
- ⑤議場の席配置
- ⑥委員会室の在り方、考え方（設置数や形状含む）



▲7月14日 森町への行政視察の様子

- ⑦会派室の在り方、考え方
 - ⑧議会図書室の多目的利用についての可否
- 以上を集約した後、議長へ答申します。
(天神林)

無理なく続ける健康づくり

生活・福祉委員会

健康なまちづくりの推進に向けてをテーマに、愛知県岡崎市、愛知県蒲郡市の2市を視察しました。

食育に力を入れている岡崎市では、野菜摂取率向上に向け、各世代に合わせた取り組みを実施し、子どもたちから給食の献立を募集したり、地元食材を活用したレシピを伝えたりするほか、地域の特性を生かしながら食について考える取り組みが行われていました。

メタボリックシンドローム該当者の割合県内1位をきっかけに、健康推進に力を入れた蒲郡市は、部署を超えたプロジェクトチームにより事業を展開し、体重測定100日チャレンジでは、参加者1万人の目標を達成、数値の適正人数が増加する結果となりました。



▲7月28日 愛知県蒲郡市への行政視察の様子

健康意識は継続が重要であり、2市ともに無理なく続けられる取り組みでした。本市では何が必要か、今回の視察を参考に研究を進めます。
(宮武)

行政視察を終えて

観光・経済委員会

本委員会では、重点活動テーマにおいて、観光産業に関する実態調査や脱炭素社会に向けた企業による新たな事業展開を調査・研究することとしています。

本年は、大分県由布市が行ったグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業の調査や、熊本県南小国町が行っている太陽光発電、太陽熱利用、木質バイオマスの導入、中小水力発電などによる再生可能エネルギー事業の取り組みのほか、小国町が地域振興と地域の資源や環境を保全しながら取り組んでいる民間事業者による地熱発電事業について視察してきました。

今後は、グリーンスローモビリティをテーマとして、登別国際観光コンベンション協会



▲7月26日 熊本県阿蘇郡小国町への行政視察の様子

との意見交換会を行うとともに、議会サポーターとの意見交換会を実施して、政策提言に向け取り組んでいきます。
(小栗)

議会における多様性の 確保に向けて

議会運営委員会

本委員会は、議長諮問事項である議会における多様性の確保についてをテーマとし、先駆的な取り組みを行っている茨城県取手市、埼玉県戸田市の行政視察を実施しました。

取手市における視察内容は、女性議員による議会改革特別委員会設置に至る経緯について、詳細を伺い多くの助言をいただき、戸田市では聴覚障がいを持つ議員に対する具体的な対応について調査しました。

聴覚障がいに限らずさまざまな方が議員になる時代がきており、障がいも議員の個性として迎え入れる柔軟な対応が必要であると感じました。



▲8月4日 茨城県取手市への行政視察の様子

現在は任期の後半ですが、テーマである各種条例等の総点検と改善についての進捗状況については、既に運用に入っている項目もあり、仕上げに向け適進する所存です。
(若木)

令和4年第3回定例会 一般質問

[令和4年9月12日(月)～9月15日(木)]

議員12名が市政を問う



今野議員の
一般質問
中継はこちら

※DXの活用で
まちのさらなる発展を
今野幹大

※NFTアートを新たなふるさと
納税返礼品に加えては。

総務省からのNFTに関する返礼
品の取り扱いの回答を踏まえ、検討し
ていきたい。

NFTを観光資源に活用しては。

今後、観光NFTの実施が可能な
事業者から話を伺ったり、他自治体の
事例の調査などに取り組んでいく。

内閣府やデジタル庁のように、庁
内DXを推進するには、本市も統括的
な組織が必要では。

DX化の推進強化を進めるために
は、市の業務全般に係るデジタル化の
強いリーダーシップを発揮する専門的
な部署を明確化し、推し進めることが
必要と考える。

職員数も限られる面はあるが、新た
な推進組織の設置も含め、より良い推
進体制を検討していきたい。

※DX Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)の略称。
ICT(デジタル技術)の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
※NFT Non-Fungible Token(ノンファンジブル・トークン)の略称。非代替性トークン。
デジタルデータの偽造・改ざんを防ぎ、デジタルデータ固有の価値を持たせることができる。



二瓶議員の
一般質問
中継はこちら

ゼロカーボンシティ宣言で
EV導入は進むのか
二瓶秀幸

地球温暖化が進み、日本近海の海水
温が+1・14℃となり、生態系の変化
により漁業等に影響を及ぼしています。
また、台風や竜巻、大雨、異常気象
による水害など、自然災害から鑑みる
と、危機が迫るものがあります。

本市ではゼロカーボンシティ宣言を
されましたが、EV導入の取り組みに
ついて質問しました。

EV急速充電器の契約満了による
更新や増設の考えは。

今後、本庁舎が移転予定のため、
現機器は更新せず、契約延長の事務を
進めており、電気代・メンテナンス等
の条件は、管理側の全額負担となる。

今後、公用車のEVを増やしてい
きたいとのことだが導入計画は。

登別市温暖化対策実行計画の中で
示していることが、EV導入計画の基
本となり、公用車のうち50%以上を電
動車等とすることを目指していく。

※EV Electric Vehicle(エレクトリック・ビークル)の略称。電気自動車。



小栗議員の
一般質問
中継はこちら

環境に優しい
まちづくりの取り組みは
小栗義朗

二酸化炭素排出量を実質ゼロにす
るゼロカーボンシティへの挑戦を表明
したが、2030年の削減見込みは。

目標年の2030年には、約37・
4%の削減を達成できる。

排出量の削減には市民の協力が欠

かせないが、登別市温暖化対策実行計
画に住宅用太陽光発電の導入促進とあ
るが、本市の設置件数は。

平成30年の調査結果では290件と
なっている。

事業所や工場など、一定規模の新
築物件に太陽光パネルの設置を義務付
ける自治体も増えつつある。

本市も何らかの対策を打ち出す必要
があるのでは。

再生可能エネルギーにも取り組む
が、紙やプラスチックの分別収集も二
酸化炭素の削減に大きなウエイトを占
めているため、まずは、こうしたこと
から市民の協力を得て取り組んでいく。

空き家から茂った枝の切除と野球場の整備は

若木 康夫




若木議員の一般質問
中継はこちら

質 近年、本市において所有者不明土地が増加しており、このような土地から隣地にはみ出た枝は、所有者の許可なく切れないが、来年4月の民法改正後は要件が整えば可能になる。
本件の問い合わせ状況や周知は。

答 民法の改正内容を精査し、市民からの問い合わせなどに対し、適切な助言や対応を行っていききたい。

質 川上公園野球場は、平成6年の完成後から現在に至るまで、大規模な修繕が為されておらず、バックネット、グラウンド内の凹凸、電動得点板の作動不良、水道管の漏水等が指摘されているが、修繕の考えは。

答 修繕の必要性はあるものと理解している。
高額になる修繕箇所もあり、修繕の必要性を他施設と対比しながら優先順位を定め、予算措置を含め適切な対応と修繕を考えている。

フリーアドレス制導入の運用方法とその課題は

田中 寛志




田中議員の一般質問
中継はこちら

質 道内市町村で初となるフリーアドレス制は、部次長が参加することで、現場職員の苦労や悩みを直接知ることが出来るほか、若手職員とのコミュニケーションが取れると考えられる。
また、人事担当部署の職員が参加す

ることで、超過勤務等の実態把握やハラハラ防止につながるのではないかと
思うが、本市の考えは。

答 フリーアドレス制の導入により、部次長や人事担当職員が参加することは、若手職員とのコミュニケーション、各職場のさまざまな実態把握、ハララスメントの未然防止といった、課題の解決方法の一つになり得るものと考えられる。

その実施や運用方法などについては、今年度の試行結果等を検証しながら、検討を進めていきたいと考えている。
そのほか、クリンフルセンターに係る質問をしました。

健康なまちづくりの推進を

佐々木 久美子




佐々木議員の一般質問
中継はこちら

質 本市のメタボリック症候群に該当する人は全国・全道より多く、生活習慣病対策は食生活改善と運動を習慣づけることが必要と考え、質問しました。
質 本市の運動習慣の状況は、運動習慣のある方は、比較的多い

状況にある。
質 蒲郡市では、全庁的に健康づくりに取り組み、体重測定100日チャレンジの事業を立ち上げ、一定の成果がでていますが、市民を巻き込んだ運動などの取り組みを行う考えは。

答 今後も市民の健康管理を分析し、市民ニーズに対応した健康づくりの事業に取り組みよう努めていく。

質 今後、関係機関との連携を深める考えは。
答 登別市健康増進計画の第3期計画を策定する際は、市教育委員会などとの連絡会議を開催して意見聴取を行いながら連携していく。

市民の安全・安心を担う職員の働く環境整備は

工藤 二雄




工藤議員の一般質問
中継はこちら

質 消防登別支署と登別温泉支署が統合され、東支署が開設されたが、2支所が一つになり、人員や働く環境はどの様に変わったのか。
答 消防東支署は、従前の消防署登別温泉支署や登別支署と比べ、敷地が広

く、充実した訓練が行えることや、庁舎の収納スペースが充分にあり、資器材の収納整理がしやすく、迅速な出勤につながっている。

また、間口が広いため、安全に車両の出入れが可能となっており、庁舎内の環境も職員の研修可能な会議室を併設し、出勤時は庁舎が電子ロックで施錠され、防犯対策も充実している。

さらに、仮眠室の個室化により、騒音などに悩まされることなく、仮眠を取ることができ、職員のストレス軽減も図られ、現在のコロナ禍においては、感染リスクの低減も図ることができているものと考えている。

思いやりのある駐車場制度の導入を

足立知也



足立議員の一般質問
中継はこちら

障害者等用の駐車施設を必要とする人に利用証を交付し、駐車車両を識別可能にして不正駐車を防ぐ、パーキング・パーミット制度導入の考えは。

答 現時点で導入の考えはないが、導入済み自治体における運行状況や、北

海道の動向などを注視していく。

質 制度導入により、現状よりも足の不自由な方の人数把握ができると思われ、災害時避難で命を守ることにともなると考える。

また、妊産婦などにも障害者等用駐車施設が利用しやすくなるなど、思いやりの醸成にもつながるのではないかと。

答 今後も導入しないということではない。

国土交通省が、令和3年8月に車椅子使用者用駐車施設等のあり方に関する検討会という有識者会議を立ち上げているので、議論内容について注視していきたい。

新たな公共施設整備と住みやすいまちづくりは

成田昭浩



成田議員の一般質問
中継はこちら

新庁舎整備における市民満足度を意識したPRポイントと、特色ある市民サービスはいかに。

答 ICT活用とワンストップ窓口の設置により、複数の窓口を渡り歩くことなく、1カ所の窓口で手続きが完結

できるサービスとなるが、現状では、子育てに関する部署が分散している。そのすべてが新庁舎に集約され、窓口をワンストップとすることで、子育て世代を包括的に支援できる。

市民が使える会議室の設置、議会が行なわれていないときの議場の開放、災害時の一時避難場所や災害支援活動の拠点としての機能も備える。

質 登別市情報発信拠点(通称ヌブル)整備におけるPRポイントはいかに。

答 観光やアイヌ文化の情報発信をはじめ、地場製品の販売、市内のイベント風景を模したブロック玩具を使った巨大ジオラマの展示などがある。

新庁舎の設計確定時期と機能的な庁舎の考えは

米田登美子



米田議員の一般質問
中継はこちら

令和8年移転予定の庁舎建て替えに係る基本設計と実施設計の確定時期についてはどうなのか。

また、機能的な庁舎とするため、どのようなことを検討されるのか伺う。

答 基本設計が令和5年3月とし、実

施設設計は令和6年3月を目途とする。

機能的な庁舎の考えにおける低層階の利点については、これまでの意見を参考に2階建てを検討している。

階段を使用せずに入ることのできる1階に、市民が多く利用される窓口や機能を集約して配置することで、利便性の向上が期待できる。

※フェーズフリーの視点による平時においては、広い会議室等を1階に配置することにより、市民の利用しやすい環境が確保できる。

また、災害時においては一時的な避難場所としてのスペースが確保できるなど効率的に活用できると考える。

れ、方向性を取りまとめた提言書を提出しているが、本市の推進計画の策定状況と今後の考えを確認したい。

答 中学校における文化活動の地域移行への提言書においては、都道府県が策定した推進計画を基に、市町村においても策定することが適当とされていることから、今後のガイドラインや国・北海道の動きを注視していく。

中学校における文化活動の地域移行計画は

天神林美彦



天神林議員の一般質問
中継はこちら

文化庁が設置した、文化活動の地域移行に関する検討会議では、文化活動の地域への移行を着実に実施することともに、子どもたちに質の高い文化芸術活動の機会を地域で整備・充実するための課題等について検討が行わ

中学生が文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保や、学校の働き方改革の促進による学校教育の質の向上など、提言書の目指す姿の実現に向けて、文化活動の地域移行を進めていきたい。

※フェーズフリー 平常時と災害時という社会のフェーズ(時期、状態)を取り払い、普段利用している商品やサービスが災害時に適切に使えるようにする価値を表した言葉。

国会・政府に4件の意見書を提出

次の意見書を可決し、意見書4件を国会・政府等へ提出しました。

詳しい内容は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

急激な物価高騰からくらしと経済活動を守る緊急の経済対策を求める意見書

北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し、全ての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

オンライン本会議の実現に必要なとなる地方自治法改正を求める意見書

近隣自治体での各種催しは、コロナ禍での約3年ぶりの開催という動きが多く報じられました。
本市でも例年、大規模に開催されてきた催しの中止などにより、まちの活性化に寂しさを感じた声などを受け、催



伊藤議員の一般質問中継はこちら

コロナ禍でもあきらめない
まちづくりの思考を
伊藤 藤 健 太

しについての考えを質問しました。
質 各種催しの開催判断はいかに。
答 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施、北海道のイベント開催についての要請や業種別ガイドラインなど、市内公共施設等の利用におけるガイドラインや市内感染状況なども踏まえて、実施責任を負う主催者が総合的に判断しているものと認識している。
質 本市主催または共催による秋祭りなどの催しを開催する考えは。
答 主催や共催をする考えはないが、各種催しはそれぞれに開催目的があり、今後、主催者から相談等があれば、可能な限り側面的支援を行いたい。

予算・決算委員会 (令和4年度補正予算審査) [令和4年9月21日(水)]

本委員会に付託された令和4年度各会計補正予算案件の審査は3件で、コロナ禍の状況を鑑み通告制としました。初めに、議案第60号令和4年度登別市一般会計補正予算(第7号)の質疑のあった事業について、歳出において、総務費では公用車管理システム導入事業費631万3千円と再配達削減チャレンジ事業費154万円、民生費の高齢者世帯等生活支援事業費7千533万2千円と社会福祉施設等食事提供支援給付金給付事業費1千992万3千円について、商工費では湯之国登別クーポン発行事業補助金7千万円ほか、歳入全般においては、資料要求を行った新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金総額5億2千34万5千円について、それぞれ質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。
次に、議案第61号令和4年度登別市介護保険特別会計補正予算(第2号)については特に質疑なく、全会一致で原案のとおり可決しました。
次に、議案第62号令和4年度登別市カルルス温泉スキー場事業特別会計補正予算(第2号)について、歳入歳出全般で、サンライバススキー場運営経費27万円について質疑を行い、質疑終了後、全会一致で原案のとおり可決しました。

(二瓶)

議会中継をスマートフォンなどで閲覧しませんか?



本会議や各委員会は、スマートフォンやパソコンなどからでもご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、できる限り来場しての傍聴はお控えいただき、スマートフォンやパソコンから議会中継をご覧くださいませよう、ご協力をお願いします。

令和4年第4回定例会は12月2日(金)から開催される予定です。